

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標	ハザン省、クアンビン省、クアンガイ省に暮らす少数民族の子どもが、整備された教育環境で児童参加型の初等教育を受けられるようになる。 当事業(第2期)では教室環境の整備に向けて、これまでに対象地域にある基幹校22校のうち18校に対する図書支給を行った。また、教師間の学び合いに関する教師トレーニングを2回実施。対象校ではペア学習が取り入れられるなど、児童参加を促進する授業が増えつつある。
(2) 事業内容	<u>1. 子どもにやさしい教育環境の整備</u> 1. 1 教室建設および教室備品の支給 対象の3村(ハザン省シンマン郡ドアンケット村、クアンガイ省バトウ郡ヌオックラン村、クアンビン省ミンホア郡ゾ村)で教室の建設を開始した。いずれも、2015年9月頃の完成を予定している。 1. 2 衛生・給水設備の設置 1. 1の対象校3校すべてにおいて、男女別トイレと給水設備の建設を進めている。ゾ小学校ではトイレの水源として井戸の設置を予定していたが、設計業者による現地調査の結果、井戸では乾季の水量が不足する可能性が高いことが判明した。そのため、井戸ではなく給水タンクを設置し、近隣の川から水を引くよう変更した(2015年6月18日変更申請書承認)。衛生・給水設備はすべて、2015年9月頃の完成予定。 1. 3 図書の支給 第1期に引き続き、2015年4～5月に対象地域にある基幹校22校のうち18校を対象に児童用図書を支給した。クアンガイ省の4校では、8月に支給を予定している。 <u>2. 教師対象トレーニング</u> 2. 1 プロジェクト振り返り・計画ワークショップ 2015年1月に、プロジェクト振り返り・計画ワークショップを3日間行った。参加者は、対象3省の教師や教育訓練局職員を中心とする42人。当初予定を1日延長してバクザン省を訪問し、教師間の学び合いを先行して実施している小学校の取り組みを学んだ(2015年2月変更報告書提出)。ワークショップでは、モニタリング・評価についても学んだ。 2. 2 カリキュラム改善策検討ワークショップ クアンビン省では、2015年5月にカリキュラム調整のためのワークショップを3日間行った。参加者は、対象1郡の教師や教育訓練局職員を中心とする49人。ハザン省では2015年12月、クアンガイ省では2015年10月の実施を予定している。 2. 3 教師間の学びあいトレーニング 2015年3月～4月に、日本人教育専門家が中心となり、ハザン省でトレーニングを4日間行った。参加者は、対象3省の教師や教育訓練局職員を中心とする52人。また、2015年4月には、日本人教育専門家とともにフートー省を訪問し、教師間の学び合いを先行して実施している小学校の取り組みを学んだ。参加者は、対象3省

	の教師や教育訓練局職員を中心とする54人。当初訪問先はバクザン省を予定していたが、学校側の都合がつかず、フートー省に変更した(2015年4月変更報告書提出)。さらに、2015年4月には、現地教育専門家がクアンビン省の対象校を訪問し、現場の教師の直接指導を行った。現地教育専門家の派遣は当初クアンガイ省とハザン省のみを予定していたが、クアンビン省でも同様の支援が必要と判断し、追加した(2015年2月変更報告書提出)。各校では公開授業を毎月行い、教師間の学び合いを促進するとともに、授業内容の改善に取り組んでいる。今後も引き続き、現地教育専門家らによる現場指導や、日本人教育専門家によるトレーニングの実施を予定している。 2. 4 プロジェクト成果確認ワークショップ 教育専門家による現地調査は2015年9月～10月、各省およびハノイで実施するプロジェクト成果確認ワークショップは2015年11月～12月の実施を予定している。なお、同ワークショップでは、効果を高めるため、当初の予定になかった日本人専門家による発表も行うこととした(2015年4月変更報告書提出)。 <u>3. 地域での教育活動の推進</u> 3. 1 ベトナム語指導のための教員アシスタント配置 ハザン省において、少数民族の子どもたちのベトナム語習得をサポートするための教員アシスタントを7人配置した。当初は6人の予定だったが、言語の問題が大きい教室が7教室あったため、1人追加した(2015年2月変更報告書提出)。教員アシスタントは児童の信頼も厚く、特にベトナム語の習得に困難を抱える児童たちの学習の手助けとなっている。 3. 2 地域の読み聞かせ会の開催 対象3省において、2015年6月より、地域の読み聞かせ会を開始し、これまでに延べ1,157人が参加した。地域の保護者や教師が中心となり、1. 3で支給した図書を活用して行う読み聞かせ会は、夏休みが終わる8月まで継続する。
(3) 達成された効果	直接裨益者数および間接裨益者数は、計画どおりの予定。指標に基づく現在までの進捗状況は、以下のとおり。 1) 子どもにやさしい教育環境の整備 ● 安全な教室で授業を受ける児童の数: 事業開始時112人→ 112人(0%達成、現在建設中) ● 二部制ではなく、全日授業を受ける児童の数: 事業開始時105人→ 105人(0%達成、現在建設中) ● 適切な衛生設備を使い、正しい衛生習慣を実践する児童の数: 事業開始時0人→ 0人(0%達成、現在建設中) ● 追加図書を活用する児童の数: 事業開始時0人→ 4,693人(66%達成、残りは8月の予定)

	2) 教師対象トレーニング ● 少数民族の児童向けにカリキュラムを調整した教師数: 187人(30%達成、残りは10月・12月の実施を予定) ● 少数民族の児童向けの授業案を紹介する資料の発行数: 基幹校22校中16校で資料を発行(73%達成、残りの学校は9月の発行を予定) ● 学びあい公開授業の実施回数: 基幹校22校で平均4回実施(57%達成) ● 学びあいを理解し、各コミュニンで継続参加する教師の数: 615人(100%達成) 3) 地域での教育活動の推進 ● 教員アシスタントのサポートを受けた児童の数: ハザン省の7教室に通う少数民族児童 140人(117%達成) ● 地域の読み聞かせ会に参加した児童の数: 1,157人(64%達成、8月まで継続)
(4) 今後の見通し	小学校は、2015年6月から8月まで夏休みとなる。事業は計画どおり進捗しており、今後は主に以下を予定している。 ● 教室建設、教室備品の支給、衛生・給水設備の設置は、2015年9月頃の完成予定。 ● 児童用図書は、クアンガイ省の4校では2015年8月に支給を予定。 ● カリキュラム改善策検討ワークショップは、ハザン省では2015年12月、クアンガイ省では10月に実施予定。 ● 教師間の学びあいに関する教師トレーニング(第2期3回目)は、2015年9月にクアンビン省で実施予定。 ● 各郡のパイロット校(5校)における教師間の学び合いに関する実地研修は、2015年8月～10月に各省で実施予定。 ● プロジェクト成果確認ワークショップは、各省で2015年11月、ハノイで12月の実施を予定している。 ● 地域の読み聞かせ会は、2015年8月まで継続予定。